

軍事・歴史・政治・経済研究紙

MONTHLY DAITOH-NEWS

本紙の年間購読は本体 3,000 円 + 税です。

中国共産党政府の買にはまる日本

元手いらず

中国共産党政府のモットーは、「資本家が作ったロープで資本家を吊るせ」であり、これをかかつて毛沢東は「元手いらず」と称した。時代は急速に「中華」の思想によってアジアの中国化が水面下で促進されている。そしてその背後には、したたかな中国共産党政府と、共産党政府の意向を受けた中国公安当局が鎮座している。

これは彼等が主張して憚らない「台湾」の国家体制とその経済状態を見れば明らかであろう。例えば、台湾企業であるが、台湾の企業が中国大陸でやると軌道に乗ったと思うと、共産党の書記や公安当局のお偉方が、ああだ、こうだとい

ちやもんを付け、金を集りに来る現状を見ても明らかである。台湾は、蒋介石の戦争指導の失敗からかつての南京政府を毛沢東と周恩来に奪われたが、一方台湾に



19歳のとき東ドイツに留学した金正日。彼の背後には常に中国共産党政府の陰が付き纏う。

者達は、中国大陸に対する切なる哀愁と、その思い込みから、この大陸に対する愚かな主観的な思い込みが或るようである。中国大陸に鎮座する共産党政府は、彼等の思い込み以上にしたたかであり、強引である。

それは、例えば、文化で中国を統一するなど甘く考える論調にもこれが如実に窺われる。これは幾ら台湾にいる中国人が、同根の中華思想にとつて中国人は文化で統一されていると言つても、こうした一部の台湾にいる学者の戯れ言を、共産党政府は端から信じていないのである。

てベテンにかけ、最後は「ただで生け捕る」というのが、そもそも毛沢東が信じた「元手いらず」であり、これは孫子の兵法に則つた一種の戦略的な思想から来ているものである。そこに文化や統一意識など入り込む余地はないのである。

かつて台湾の李登輝総統は「彼等大陸にいる中国共産党員らは、唯一つだけ敬服に値する点がある。それは、中国人民が何処にいても、公安当局はその動向と行動をしっかりと把握していることである。」

中国大陸は一見して、喧騒と混乱を極め、無秩序に動いているように見えるが、これは側面から共産党政府がしっかりと掌握している行動の一つ一つを正確に把握しているのだから、この点についてはシャツポを脱ぐ、と言つたが、まさに中国は警察国家であり、その背後には諜報活動の徹底した公安当局が働いているのである。

この公安当局の活動は、特に国際間の諜報活動について、総参謀部第二部の活躍が目覚ましい。公安当局の活動の軍資金は、日本政府からの無償援助によって賄われている。中国共産党人民解放軍総参謀部第二部は、長年に亘つてアメリカの核開発や宇宙兵器の技術を盗んで、自国の兵器開発に

報部員である老練な中佐以上の階級と地位を持つ十数名のエンジニアト工作員によって計画され、巧妙なスパイ活動が日本の地において展開されている。日本は世界でも有数なスパイ天国である。

ここに目を付けたのが中国の公安当局であった。公安当局で選抜され、工作要員に抜擢されたスパイ達は、身分を変え、職業や肩書きを語学者や医学者に偽つて、日本に潜伏している。その主力は女性であり、彼女達はまず、間接的な日本の政治家に寄生する。

世界でも日本の政治家が間接的なのは有名であり、与野党を問わず彼女達は自分の美貌を武器に与野党の政治家に接近し、最後は色仕掛けで手玉に取る。彼女達の肩書きは「語学者」である事から、「通訳」として与野党の政治家に近付き、多少のイデオロギーも含めて紹介された政治家へと接近

し、これを色仕掛けて賂め、こつた中国公安当局の色仕掛けによる策略を学んだのが、朝鮮民主主義共和国であった。それは北朝鮮の「喜び組」などの組織を見れば一目瞭然である。

中国諜報機関の海外活動は目覚ましいものがある。日本人が想像を絶する離れ業をやつてのけ、日本の政治家と結びついた、北京政府の日本語通訳官はしたたかである。また、これと同様の諜報員が北京の医科大学で学んだ医学者を名乗る女性達である。彼女達は中国で偽造された肩書きを、フルに遣い、日本の政治家に接近し、あるいは学術会議などに積極的に参加して学者達と接近する機会を窺つている。

特に政治家と匹敵する間抜け振りを見せるのが日本の医学者であり、「医学博士」の肩書きで、深く大病院の中に入り込む事が出来る。そして医師会が集めた莫大な資金は、彼女達によって中国公安当局の軍資金となるのである。

しかし多くの内外の日本人はこうした水面下での実情を知らないうちに、麻薬や覚醒剤の産出国としての中国に深く関わってきた。軍資金を捻り出すのは、これがもっとも手取り早いからだ。

ベトナム戦争でアメリカ力がジャングル戦の足枷に囚われている時、中国は北ベトナムやカンボジア経由で、南ベトナムの領土深くに侵入し、大量の麻薬を輸出して

いた。これは毛沢東の、裡側から敵を崩壊させる「孫子の兵法」に則つたものであるといわれている。中国共産党が好んで弄する策は、こつた人間には最も有害である習慣性の薬物を裏で輸出しながら、表面には麻薬常用者や売人を検挙して公開裁判に掛け、処刑するといった相反する、二つの行動で裏側の事実を隠してしまふことであつた。これは事実を知らない外国人に対して用いる巧妙な手段で、悪事を正義にすり替え、正義を悪事にすり替える狡猾な手段であつた。

聖地に絡む宗教戦争

(その四十三) 米国イオンド大学教授 曾川和翁

イスラム教は最後の預言者であるマホメットが、大天使ガブリエルから最後の啓示を頂き、その後次々に天使達の啓示を受けつつ、聖典と云われる「古蘭」を成立させたことである。古蘭に記録されている事は、唯一絶対神のアッラーの教えであるとされている。イスラム教の特徴は、「行」と云われる信者厳守の戒律があり、一日に五回の礼拝、一カ月間の断食、喜捨と云う寄附行為、メッカへの巡礼、そして以上は厳しい戒律として信者を縛り続けている。

また律法である戒律は、盗みは片手の切断、姦通が石打ちの刑、背教は死刑、飲酒は八十回の鞭打ちの刑、豚肉は食べてはならない等がある。イスラム教は、割礼と云う儀式があり、信者に細々とした罰則を課せ、厳格に守らせる事の特徴として、ム教も預言と云うものを含んで

いる為に、「超能力」とい、「超自然」とい、「奇蹟」を起す事をその概念においた考え方で構築されている為、神秘主義とは無縁であり得ない。

いかなる宗教も、大方は奇蹟を求める神秘主義的傾向が強いものである。そしてキリスト教で云う救済とは、選ばれし者だけが神の国に入れる事であり、イスラム教では、アッラーの神の判決によって天国に入れてもらう事を云うのである。

では、「救済」はどのような形で行われるのか。それは各個人についてなされるのである。この場合、天下国家や民族や組織、あるいは家族などの集団によってなされるのではない、集団が神の国に入つたり、家族揃つて天国に入つたりする事はないのである。

九州科学技術研究所 URL http://www3.ocn.ne.jp/saigouha/

大東流霊的食養道HP www.daitouryu.com/syokuyou/ 癒しの杜の会HP www.daitouryu.com/iyashi/

歴史を工学的に科学する 〒 802-0985 北九州市小倉南区志井6丁目11-13 (尚道館ビル2F) 九州科学技術研究所 093(962)7802 FAX093(961)8224 Eメール: science@daitouryu.com

九州科学技術研究所 Kyushu technology Institute